

兵庫県民間病院協会会報

2025

11

令和7年 通巻657号

目次

巻頭言	(一社)兵庫県民間病院協会 監事 大村 武久	1
随筆		
30年前の仮設診療所	(一社)兵庫県民間病院協会 理事 宮地 千尋	3
日本が瘡痍の地にならないために (一社)兵庫県民間病院協会 理事 吉田 寛		5
現場の声と向き合うということ (医社)秀英会 神戸朝日病院 事務局長 天野 弘明		7
看護の大切さ	(医)久仁会 明石同仁病院 看護部長代理 小西 綾	8
理事会報告		9
第43回 事務長会・看護部長会合同研修会開催報告		11
病院かわら版	(医社)神戸低侵襲がん医療センター	13
「令和7年 病院給与・労働条件実態調査」協力をお願い		15
エリア情報 (神戸・東阪神・西阪神・東播)		23
協会だより		26
お知らせ		27
(一社)兵庫県全日本病院協会だより		28
兵庫県病院協同組合だより		32
兵庫県病院企業年金基金だより		34

新たな地域医療構想と民間病院

(一社)兵庫県民間病院協会監事
(社医)甲友会 西宮協立脳神経外科病院

理事長 大村 武久



2025年もあと2ヶ月程になりました。皆様におかれましては、日々の病院運営・経営に大変苦勞されていることと思います。また、入院稼働率、重症度医療看護必要度、平均在院日数など、多くの指標のチェックに緊張の毎日を送っておられていることと思います。病院の多職種が全力で対応しているにも拘らず、病院経営には全く余裕がありません。

折しも10月4日に高市早苗氏が自民党総裁に選ばれました。高市氏は物価高騰や医療・介護職の賃金への対応として、医療・介護報酬の引き上げに言及されていますが、日本維新の会との連立政権となり暗雲が立ちこめています。維新は社会保障費4兆円減を公約にし、財源としては病床11万床減、OTC類似薬の保険適用外などを提案していますが、いずれも減額の根拠はありません。高市氏に期待したいと思います。

さて、10月3日には第119回社会保障審議会医療部会が開催され、「地域医療構想及び医師偏在対策について」をテーマに議論されました。主な論点としては(1)構想区域の設定と医療機関機能、(2)医師偏在と診療科偏在、(3)その他の医療従事者の確保、(4)介護との連携などです。会議資料にはこれまでの検討会の議論の概要が記載されています。

2015年から2025年の地域医療構想では、病床機能や病床数について議論され、病床機能の分化のインセンティブとして診療報酬改定がなされてきました。一方、新たな地域医療構想では、現在「医療機関機能」について議論がなされています。これは、人口規模ごとで大都市型(100万人以上)、地域都市型(50万人程度)、人口の少ない地域(30万人以下)といった3つの区域に分け、①急性期拠点機能、②高齢者救急・地域急性期機能、③在宅医療等連携機能、④専門等機能という4つの病院機能を設定するという考え方です。地域における病院機能の詳細なデータを集めることにより、それぞれの地域での医療機能の過不足を把握し、2040年に向かって、さらには2040年を通過点として地域医療の充実と維持を図ることが目的とされています。

ただ、人口や病院機能による分離に違和感を持たれる方も多いと思います。なぜなら、地域によって事情が大きく異なるからです。①には医療派遣機能も付加されており、ごく一部の民間病院を除いて大学病院や公立・公的病院が対象となります。民間病院は病院ごとや地域ごとで機能が様々であり、1つの機能を選択するのは難しいところが多いのではないのでしょうか。そうした場合、例えば、②と③や③と④の2つの機能を選択することになります。

今後4つの機能について協議がなされていくと思いますが、全国の地域医療や病院の実情

を国に届けることが重要です。そして不安なのは、この4つの病院機能と診療報酬の関わりです。今後中医協で議論されるでしょうが、病院団体も常に新しい情報を分析し、国に意見を伝えなければなりません。日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会などの全国組織に対し、兵庫県の状況と課題を伝えることが重要だと思います。

兵庫県民間病院協会、兵庫県病院協会は会員の皆さんの意見を集約するため、適宜調査を実施して参りたいと思いますので、今後とも御協力よろしくお願い致します。



30 年前の仮設診療所

(一社)兵庫県民間病院協会理事
(医)明倫会 宮地病院

理事長・院長 宮地 千尋



震災後30年も経ったので、忘れないうちに書いておこうと思います。私の人生の第2の出発点は阪神淡路大震災後に開設した仮設診療所です（写真1）。ここから私の新たな冒険の航海が始まりました。

1995年1月17日に宮地病院（当時200床）は5階建ての本館1階部分が崩落、増築部分が損壊し全壊しました（写真2）。当時160人あまりの入院患者様は奇跡的に全員無事に救出できましたが、当直の看護師1名が亡くなりました。病院は全壊しているのに重症患者様がどんどん運ばれて来ました。院内から持ち出せたすべての機材・薬品はすぐ底を突きました。西隣の日産サニーさん、南向いの東芝関西支社さんに場所を借りて患者様を収容しました。3日かけて三田や大阪に無事転送しました。

病院は休院となり、2月初旬に180名あまりの職員を泣く泣く解雇。東奔西走し退職金を工面。就職先をできる限り斡旋。再会を約束し涙の別れをしました。再建後6割以上の方が戻ってきてくれたのは有難かったです。

私は3月20日に旧宮地病院の北側駐車場で仮設診療所を開設しました。私の細腕で再建のために集まってくれた十数人の職員の生活を支える診療所の暮らしは、生まれて初めて経験する

緊張感と犯罪行為以外は何でもやるわという使命感にあふれていました。この2年間は診療以外にデイケア、営業、畑仕事、掃除、再建の設計会議と多岐にわたる充実したものでした。診療所の窓から、旧宮地病院の解体、新病院の建築工事を毎日見ながら気合を入れていました。

父は以前の増築工事の借金もあるし再建は難しいかと迷っていました。私はとぼとぼ患者様や職員を訪ねて歩いていると、住民の方から何回か「再建を待っている」と言われ、驚くと同時に勇気づけられました。「待っていると言われてやらないなんて、女が癪る！」両親が苦労して創業した病院を再建することは親孝行だし。ということで再建に向けて走り出したのでした。

当時震災後の再建の特別な援助は一切なく、以前からあった病床数を減らすことを条件にもらえる、近代化整備助成金を利用しました。200床から158床に減床しました。震災前の増改築工事+再建工事の借金でしたが自力再建しました。このときから私の借金まみれの人生が始まり、それは癖になるのかもしれませんが。眠れない夜もありましたが、若くて元気だったので男前に生きるのだと思っていました。

でも、一つだけ言いたいことがあります。神戸市内で多くの病院が被害を受けましたが、全壊したのは東灘区の宮地病院と長田区の西市民病院だけでした。私たち民間病院はほぼ自力再建し税金も納めています。かたや公立病院はその税金と国や自治体からの繰入金で再建し、さらには今後の建て替えも行えるのです。もちろん、

病院の役割は異なりますが同じ病院としての格差に驚きます。公・民のイコール・フッティングは遠い夢物語だと痛感します。

ところで、私の第2の出発点となったプレハブの仮設診療所は、現在は近隣の別の場所で倉庫として生きています。



写真1 仮設診療所



写真2 全壊した宮地病院（1階部分が崩壊し4階建てになった）

日本が瘡癩の地にならないために

(一社)兵庫県民間病院協会理事
(医)寛仁会 吉田アーデント病院

理事長・院長 吉田 寛



苛烈な暑さに蹂躪された今年の夏であった。最近の気温上昇・異常気象は想像の範疇を超えるものがある。気象庁の「日本の気候変動2025」には次のように述べられている。日本の年平均気温は、100年あたり1.35℃の割合で上昇しており世界平均気温の上昇率より大きい値となっている。猛暑日（日最高気温35℃以上の日）の年間日数は近年増加が顕著にみられる。熱帯夜（夜間最低気温が25℃以上）は100年あたり19日増加している。気温上昇とともに大気中の水蒸気含有量が増すので、雨の降り方が極端になっている。より強い雨ほど頻度の増加率が高くなっている。大雨の強度も増加している。将来の予測として、追加的な緩和策を取らずに二酸化炭素などの温室効果ガスの排出が高いレベルで続き、21世紀末の世界平均気温が工業化以前に比べて約4℃以上昇した場合、21世紀末には日本では猛暑日が約20日間熱帯夜は約40日間増加すると考えられている。降水量200ミリ以上の大雨や1時間あたり50ミリ以上の短時間の強い雨の頻度が増加し、20世紀末の2倍以上の年間発生頻度になると予測されている。

それでは今後の疾病構造の変容はどうなるのか。次のような蓋然性に満ちた内容が報告されている。

夏の気温が年々高くなり、猛暑日の増加によ

り、高齢者・小児・基礎疾患を持つ人などが熱中症のリスクにさらされている。熱中症による救急搬送が過去最多を記録し、死亡率も上昇傾向にある。都市部ではヒートアイランド現象が熱中症患者の増加に拍車を掛けている。暑さ指数（WBGT）を活用した予測モデルを用いて予防対策が講じられている。

今後温暖化が進むことにより、蚊やダニなどの媒介生物の生息域が拡大し、感染症の拡大が予想される。デング熱・ジカウイルス・日本紅斑熱などの蚊が媒介する疾患が広がる可能性がある。気温・降水量・湿度の変化により流行類型が変わる。

光化学オキシダントの増加によりPM2.5・オゾンの濃度が上昇し、大気汚染が悪化する。気管支喘息・気管支炎・COPDなどの呼吸器疾患が増加する。また花粉量や飛散時期の変化によりアレルギー性疾患が増加する可能性がある。森林火災が加われば煙霧により大気中の有害物質が増え状況は悪化する。

台風・集中豪雨などによる洪水後の水質・衛生環境の悪化は、感染症を含めた諸疾患の増加に繋がる。頻回の自然災害発生や激しい気候変動は精神的ストレスとなり、精神疾患の発生因子となる。農作物の生産性が影響を受け食糧供給が不安定となり、栄養障害などの健康問題を

引き起こす可能性がある。

これらに対して、熱中症予防の啓発活動などによる熱中症対策の徹底・新興感染症を含めたワクチン接種と媒介生物繁殖状況のサーベイランス・高齢者など健康弱者に対しての医療体制の強化・温室効果ガスの排出削減を図る環境政策の推進などの対策対処が求められている。

上記報告例を鑑み自然の摂理を考究し、弥縫策に終わることなく地球温暖化対策を推進し、自然に畏敬の念を持ち自然との共生を図ることが肝要と思われる。安全な地球環境を後世に引き継げるかどうかの瀬戸際にあるのかもしれない。



現場の声と向き合うということ

(医社) 秀英会 神戸朝日病院

事務局長 天野 弘明



2年前から事務長として働くようになり、日々「判断する」ということの重みを強く感じています。経営的な判断、新しい運用、職員配置の調整、時には職員間の仲裁やクレーム対応の責任まで幅広く対応しなければなりません。そのすべてに共通するのは、「誰もが納得できる答えはない」という現実です。だからこそ、私は一つひとつの出来事に対して、できる限り誠実に向き合うように心がけております。

職員の意見には、どれもそれぞれの立場での「正しさ」があります。意見の内容自体が間違っていない場合でも、それが病院全体の方針と一致しているか、または個人の利益に偏っていないかを見極める必要があります。誰かが得をして、誰かが損をするような判断では組織は長続きしません。時には冷静に、時には自分の中で葛藤しながら、「公平であること」と「前に進めること」の両立を模索しています。

一方で、あまりに理屈だけで物事を見てしまうと、人の心はついてきません。感情を押し殺し、業務を進めてはいけない場面もあると思います。職員が本気でぶつかってくるときや、方針や方向性に対して理不尽さを感じ悩んでいるときは、私も胸の内が熱くなります。時には強めに返してしまうこともあります。これも本気で関わっている証だと信じています。相手を否定するのではなく、「自分も本音で向き合っ

ている」という姿勢が、信頼関係の礎になると信じています。

ただ、その「本音でぶつかり合う」というのは、言葉で言うほど簡単ではありません。医療の現場は日々の業務が多忙で、一度や二度の話し合いで、それ以上伝えなくても「わかっているだろう」「察してくれているだろう」という思い込みが生まれやすい環境です。しかし、それが誤解を生み、すれ違いを生むこともあります。私は、「何度も言葉で伝えないと伝わらない」と思っており、また、「伝わるまで言葉にする」ことを大切にしています。正直、面倒に感じることも多々ありますが、その積み重ねが、「良い病院」、「良いチーム医療」と言われる根っこの部分になると思っています。

事務長という立場は、時に孤独です。誰にも相談できず、自分で決めなければならない瞬間も多いですが、私は幸いにも、院長をはじめ、執行部、各所属長、スタッフとの対話でたくさん助けられています。日々職員の姿や患者さんの笑顔を見るたびに、「この仕事に携われてよかった」と思います。これからも、理屈と情のあいだで揺れながらも、誠実でありたいと思います。神戸朝日病院が、地域にとって、そして働く人にとって誇れる場所であり続けるよう、今日もまた現場の声に耳を傾けています。

看護の大切さ

(医)久仁会 明石同仁病院

看護部長代理 小西 綾

私には1人息子がいます。小学校高学年から高校卒業まで野球をやっており、週末は時間さえ合えば息子の野球の観戦に行っており、まさしく息子中心の毎日でした。

そんな息子も昨年、県外の大学へと進学し家を出て1人暮らしをしています。

毎日一緒だった息子が家からいなくなり、これから毎日どうやって暮らしていこうかと思ひ、涙した日もありましたが、いつしか息子のいない生活にも慣れ、これからは自分のための時間を楽しもうと前向きになった今年の春、突然高熱と倦怠感に襲われました。各種感染症はいずれも陰性。原因が分からず悩む日々が続きましたが、ある職員の経験から感染症とは違う検査をしたところ、一つの病気に辿り着くことができ、無事治療を開始することができました。

治療を開始し間もないころ、息子と食事をする機会がありました。息子には病気のことについては言っていなかったのですが、顔を見るなり「なんかいつもと違う？」と言ってきました。

この子はちゃんと私のことを見てくれたんだ！と、とても嬉しく一気に元気になり、温かい気持ちになりました。言葉一つでこん

なに変わるんだ。人は単純だなと思ったと同時に言葉のもつ大きな意味に気づかされた瞬間でした。

AIやICTが進化し、また医学も日々進化しております。AIは膨大なデータを短時間で分析したり、ネットをひらけば様々な情報が手に入り、世界は随分と様変わりしました。看護の世界も変化しております。

しかし、目で観て、手で触れて観察する。患者の言葉に耳を傾け、言葉の裏側まで読み取り共感する。わずかな表情の変化を注意深く観察する。こういった患者に寄り添うことはAIにはできず、看護師にとってとても重要な能力であります。

息子のなにげない一言から私は改めて看護の大切さ、温かさ、言葉の大切さに気づくことができました。

忙しい毎日ですが、看護の基本を胸に患者さんに安心・安全の看護を提供できるよう今後も精進していきたいと思ひます。

最後に、私の病気も先日担当医より治癒と言っていました。

今は年末に息子が帰ってくる日を指折り数えながら、仕事に取り組んでおります。

令和7年度 第6回

理事会議事録(速報)

I 日 時 令和7年10月16日(木)
15:00～15:50

II 場 所 兵庫県医師会館6階
第4・5会議室

III 出席者 理事総数19名 出席理事19名
監事総数2名 出席監事2名
理 事：橋本創(会長)、高橋玲比古(副会長)、
北川透(副会長)、東靖人(副会長)、
常岡豊、馬殿徹也、大江与喜子、
西昂、藤久和、具英成、宮地千尋、
吉田寛、栗原英治、森村安史、
譜久山剛、大西尚、井上喜通、
井野隆弘、江尻一成
監 事：大村武久、稲見直邦
オブザーバー：播間利光(事務長会会長)、
高田郁子(看護部長会会長)

なお、高橋玲比古、東靖人、馬殿徹也、大江与喜子、
藤久和、吉田寛、栗原英治、譜久山剛、大西尚、
井上喜通、井野隆弘、江尻一成はWeb会議シス
テムにより出席した。

IV 会議の成立

理事19名が出席し、定款第34条に規定する定
足数を満たしており、本理事会が成立した旨確
認された。

V 議 長

橋本創会長が、定款第33条の規定により議長
となった。

VI 議事の経過の要領及びその結果

1 協議事項

(1) 兵庫県病院関係6団体共催 令和7年
年末特別講演会・懇親会の役割分担及
び招待者について(共通事項)

中村事務局長より、役員の役割分担及
び関係団体招待者等について説明があ
り、協議の結果、全員一致をもって承認
し、可決した。

(2) 令和7年度近畿病院団体連合会第2回
委員会の開催案内

中村事務局長より、令和7年度第2回
近畿病院団体連合会委員会の開催概要
について下記のとおり説明があり、協議
の結果、全員一致をもって承認し、可決
した。

① 日時 令和8年2月27日(金)
13:30～18:30

② 場所 ホテルオークラ神戸

③ スケジュール

ア 議事(提案議題による協議等)

イ 特別講演会

講師 国立大学法人 神戸大学 学長
藤澤 正人 氏

演題 AI・デジタル・ロボット技
術が拓く未来医療

ウ 懇親会

④ 参加費 一人 20,000円
(会議のみ 5,000円)

2 報告事項

(1) 令和7年度上半期事業報告

中村事務局長より、定款第24条第4項

に基づき、「会長は毎年事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない」こととされており、上半期の事業報告として、「管理運営・経営改善」「行政及び関連団体との連携」「広報活動」「研修会、講演会などの開催」「神戸圏域医療介護連携システムの運営」等に関する事業の進捗状況について報告があった。

なお、会員状況については、この間の異動は退会1会員で、9月末現在の会員数は244である旨、併せて報告があった。

3 その他

(1) 緊急要望書について

橋本会長より、都道府県病院協会連絡協議会より、国に緊急要望書を提出した旨説明があり、兵庫県は、都道府県病院

協会連絡協議会及び兵庫県病院関係4団体から兵庫県知事、県議会議長へ緊急要望書を提出する旨、報告があった。

(2) 令和7年度 第2回病院構造改革委員会

橋本会長より、令和7年10月9日に開催された病院構造改革委員会での会議内容の報告があった。

(3) 次回の理事会について

中村事務局長より、次回の理事会は11月20日(木)を予定していたが、阪神圏域の会議と重なったため、11月27日(木)に変更する旨、報告があった。

Web会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく終了した。

2025年秋の園遊会に招待される



兵庫県民間病院協会前会長 西 昂 先生
(兵庫県民間病院協会理事、兵庫県全日本病院協会理事、兵庫県病院企業年金基金理事長、兵庫県病院協同組合理事長、医療法人康雄会西病院 理事長) が、2025年秋の園遊会に招待されました。

心からお祝い申し上げます。

兵庫県民間病院協会
兵庫県全日本病院協会
兵庫県病院企業年金基金
兵庫県病院協同組合

第43回 事務長会・看護部長会合同研修会開催報告

日 時 令和7年10月25日(土) 14:30～19:00

場 所 ホテル日航姫路

第43回事務長会・看護部長会合同研修会（兵庫県民間病院協会・西播民間病院協会共催）が、10月25日(土)ホテル日航姫路で、県下各地から事務長、看護部長等約180名が参加して開催されました。

研修会は、兵庫県民間病院協会西播支部事務長会の前田文彦事務部長（姫路聖マリア病院事務部長）の司会で進められました。同協会事

務長会および同協会西播支部事務長会の播間利光会長（中谷病院 副院長・事務局長）の開会挨拶、続いて、同協会看護部長会の高田郁子会長（西記念ポートアイランドリハビリテーション病院 看護部長）、同協会の東靖人副会長（同協会西播支部長・姫路中央病院理事長）の挨拶に引き続き、来賓紹介がありました。

＜研修会＞



兵庫県民間病院協会事務長会・西播支部事務長会 会長
播間利光



兵庫県民間病院協会看護部長会 会長
高田郁子



兵庫県民間病院協会副会長・西播支部長
東靖人

特別講演は、同協会西播支部事務長会の寺本英徳副会長（佐用共立病院 事務長）が座長を務め、元阪神タイガース選手・野球解説者の関本賢太郎氏を講師にお招きし、「必死のパッチでつかんだチーム力～プロ野球と病院経営の共通点～」をテーマに、自身の生い立ちからプロ野球選手時代を通し、阪神タイガースのチーム力で掴んだリーグ優勝のお話をしていただき、日々チームで病院経営に尽力する病院職員が、改めてチームで協力する大切さに気付きを得る機会となった有意義なご講演をいただきました。

<特別講演>



関本賢太郎 講師

講演終了後は、司会者から各支部の活動報告があり、また次期合同研修会開催支部である東阪神支部事務長会の西宮謙二会長（安藤病院 事務長）から、「令和8年10月24日(土)に開催予定」との案内がありました。最後に、同協会西播支部看護部長会の清瀬礼子副会長（共立病院 看護部長）の閉会挨拶で終了となりました。

懇親会は、同協会西播支部事務長会の井上幹敏事務局長（木村病院 事務局長）、同協会西播支部看護部長会の山下恵子看護部長（金田病院 看護部長）の司会で、西播支部看護部長会の橋本桂子会長（酒井病院 看護部長）の開会挨拶、播間利光会長の乾杯の音頭で始まり、情報交換と懇親の場となりました。懇親会では、姫龍z、八琴楽、浜っ子2000の3チームのよさこいが披露され、和やかに歓談が進むなか、同協会西播支部事務長会の金田篤志副会長（金田病院 事務長）の閉会挨拶によって全てのプログラムを終了しました。





医療法人社団

神戸低侵襲がん医療センター



神戸低侵襲がん医療センター
理事長補佐 兼 事務部長
神戸圏域放射線治療共同利用連合
事務局

川田 一途

神戸低侵襲がん医療センターのこれから

ー地域医療連携推進法人の設立と今後の取り組みー

神戸低侵襲がん医療センター（以下、「KMCC」）は、2013（平成25）年の開院以来、「切らずに治す」がん医療を提供する拠点として大きな役割を担ってきました。放射線治療においては、強度変調放射線治療（IMRT）専用のTomotherapy、定位放射線治療に特化したCyberKnife、さらに開院当時は全国初となるTrueBeamの3台を導入し、最適な治療を提供できる体制を整え、神戸市および兵庫県内の複数の医療機関と緊密に連携することで高度な治療を広く提供してきました。

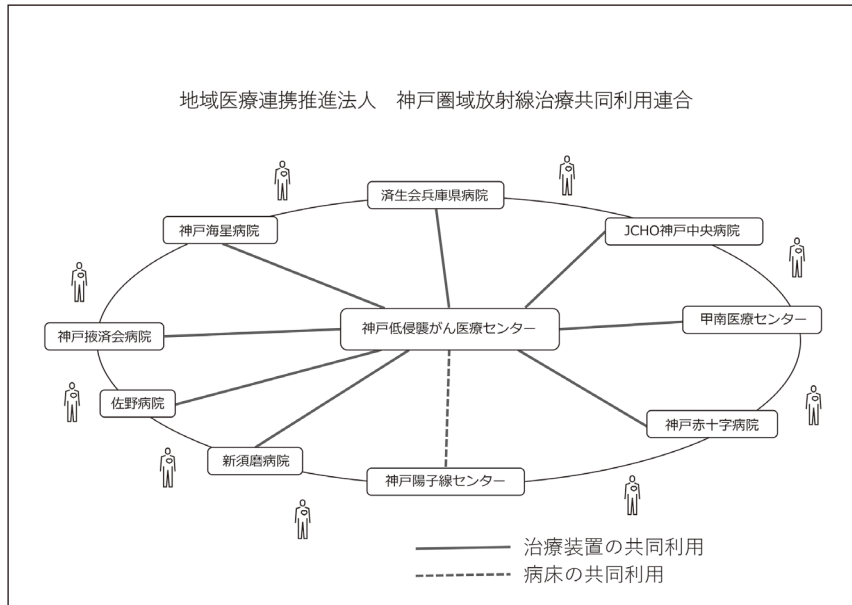
今年度、国のがん診療提供体制のあり方に関する検討会では、2040年を見据えた持続可能ながん医療提供体制の構築に向けて、「高齢化と生産年齢人口の減少に対応するため、地域の実情に応じた医療の集約化と役割分担が重要」、「がん医療圏の見直しや病院機能再編による拠点病院の整備を検討し、地域におけるがん医療の均てん化を目指す」、「医療機関間の連携を強化し、効率的で質の高い医療提供体制を構築する」等の議論を踏まえた「2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に関する」と

りまとめ」が出されました。その中で放射線治療は、高額医療機器や専用設備等が必要で導入や維持に多額の費用が必要なことから集約化が望ましいとされ、限られた医療資源を最大限に活用し、高質かつ持続可能な医療提供体制を構築することが求められています。

このような背景の下、KMCCは2025（令和7）年4月に、神戸市内の9医療機関（JCHO神戸中央病院、神戸陽子線センター、甲南医療センター、新須磨病院、神戸掖済会病院、神戸海星病院、済生会兵庫県病院、佐野病院、神戸赤十字病院）とともに「神戸圏域放射線治療共同利用連合」を設立し、神戸市では初めて、兵庫県知事による地域医療連携推進法人の認定を受けました。この法人は、参加病院間および圏域の各病院等との連携・協力によるがん治療ネットワークの構築を進めています。特に、放射線治療機器の共同利用による高精度で効率的ながん放射線治療体制を構築することで、新たな地域医療構想の実現に貢献していきたいと考えています。この取り組みは、全国的に厳しい経営状況に直面している医療機関にとって、がん診療を維持・向上させつつ経営の効率化を図るという、「施設完結から地域完結のがん医療へ転換する」全く新しいモデルケースとなるとともに、限られた人材・リソースの有効活用や医療機器の共同利用によるコスト抑制と、症例数増加による治療の質をさらに高めるとともに人材育成や臨床研究の推進にもつながることが期待されます。

KMCCは、現在の大変厳しい医療経営環境
の中においても、引き続き地域の医療機関と
ともに2040年を見据えた集約化と効率化を推

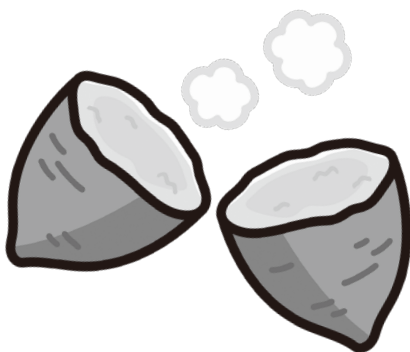
進し、持続可能で高質ながん医療を提供して
まいります。



地域医療連携推進法人 神戸圏域放射線治療共同利用連合 構成図



地域医療連携推進法人
神戸圏域放射線治療共同利用連合
ホームページ QRコード



「令和7年 病院給与・労働条件実態調査」協力をお願い

経営労務委員会委員長 大江与喜子

経営労務委員会では、地域医療を支えている民間病院の経営安定化と様々な職種が生きがいを持って働ける労働条件を整えるため、毎年「病院給与・労働条件実態調査」を実施しています。

この調査は、昭和50年度に始まり、今回で51回目になりますが、医師、看護師をはじめ主要な職種の年間総支給額・賞与・初任給・手当や非常勤医師・看護師・薬剤師の賃金等の動向が把握できるほか、自院の給与水準が平均値や中央値とどれだけ乖離しているかをエクセル表上の数値で確認できるようになっています。

調査に参加いただいた病院には、このようなデータのフィードバックをさせていただいており、経営戦略上極めて有効なツールとしてご活用していただいていますので、ご多用中とは存じますが、従前からご参加いただいている病院はもとより、これまで参加されていない病院におかれましても、積極的な参画（データ入力・提出と調査結果の活用）をお願いいたします。

【データの取り扱い】

- ・調査結果は、県下全域と支部別に集計し、各病院の個別データは一切公開しません。
- ・参加病院には、調査結果をまとめたCD及びUSBを無償で配布します。
※不参加病院には、調査結果は一切提供できません。
- ・パソコンで入力すると、次回からは前年データを利用して入力ができますので、2回目以降は事務負担が格段に軽減されます。

1 令和7年調査の概要

(1) 調査実施時期について

調査依頼	<u>11月下旬</u>
提出期限	<u>2月27日(金)</u>
結果送付	<u>4月末予定</u>

(2) 調査方法等について

○データの提出方法

昨年度と同様、パソコンで入力したCDまたはメールで提出。

○報告書の形態

調査参加病院には、昨年度と同様、CDとUSBを作成し無償配布。

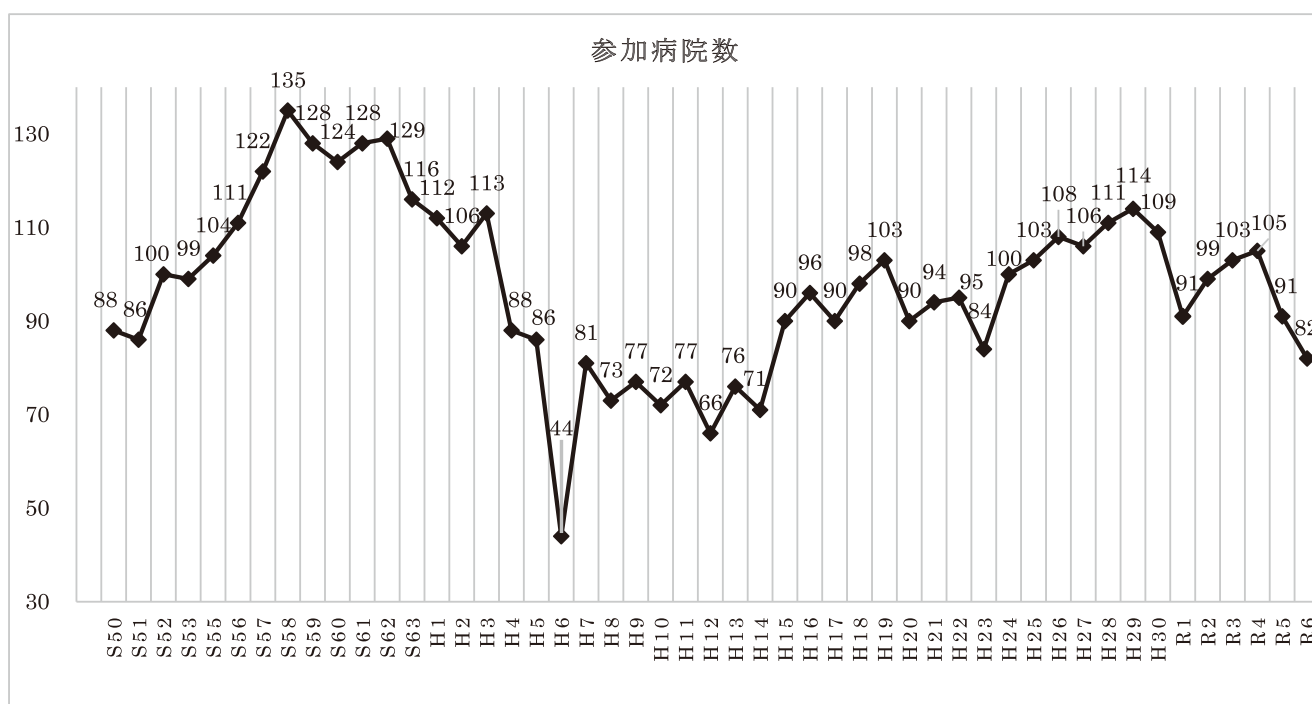
○事務の軽減対策（平成30年から実施済）

- ・入力システムからエクセル入力用に取り込みができるようにした。
- ・CSV（テキストファイル）でデータ取り込みが容易にできるようにした。
- ・調査票を電子メールで提出できるようにした。

2 これまでの調査の経緯

この調査は昭和50年度から実施されており、1月から12月までの年間給与と12月分の給与や労働条件を調査し、その集計結果を調査参加病院に報告しています。

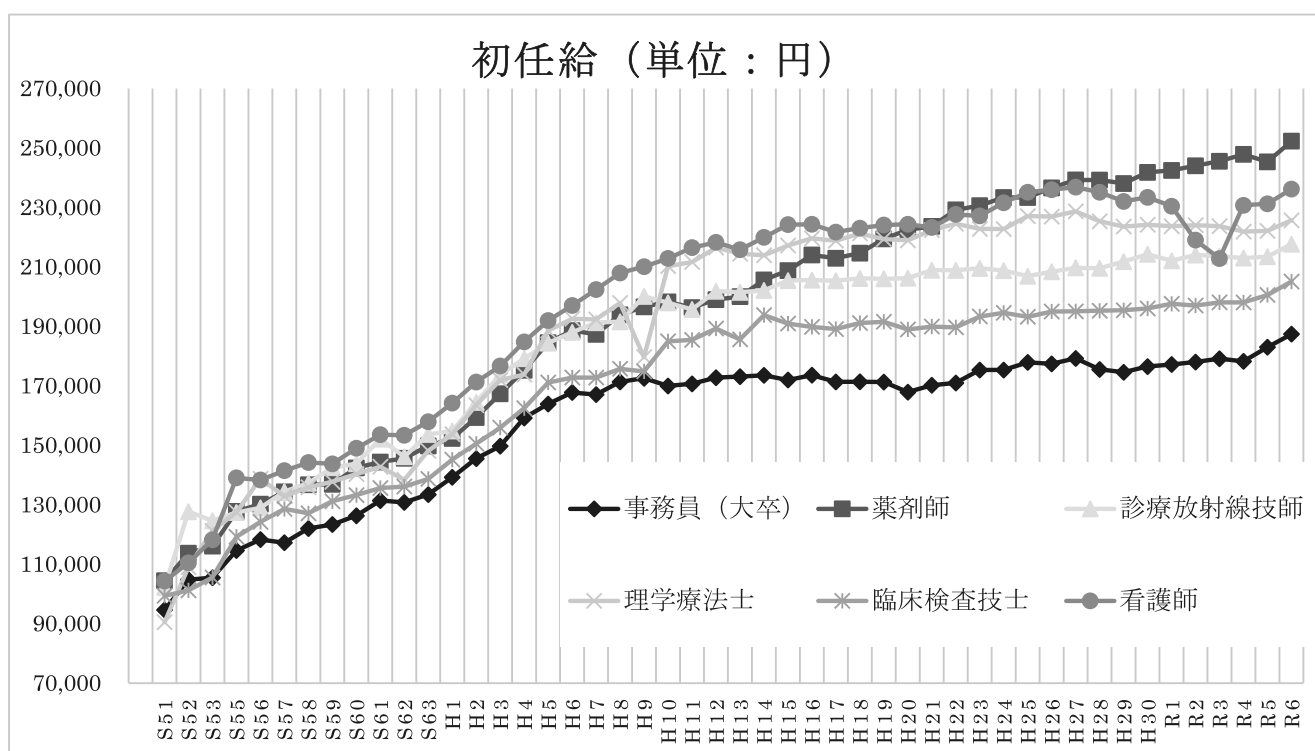
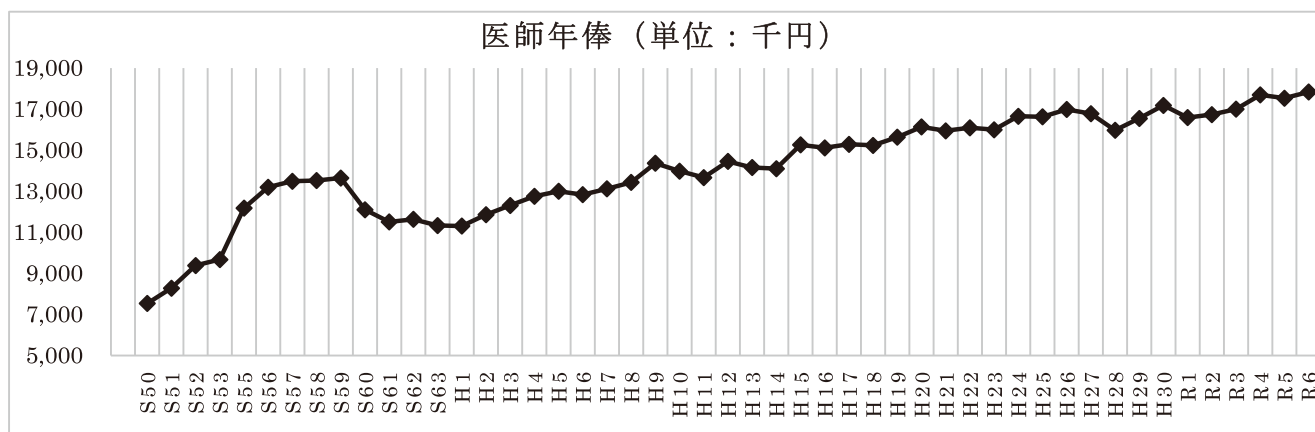
調査参加病院数は当初の88病院から徐々に増加し、昭和58年の135病院をピークに減少に転じ、最も少ない44病院となった平成6年以降は増加傾向となりましたが、近年は減少傾向にあり、昨年は82病院（会員病院の約34%）の参加、調査対象職員数は8,405人となっています。



これまでの調査結果を概観しますと、医師の平均年俸は昭和50年には約750万円でしたが、年々上昇して令和6年には約1,780万円と約2.4倍になっています。

その他職種の年間総支給額調査は昭和55年から始まっていますが、昭和55年と令和6年の主な職種の平均額を比較しますと、放射線技師が約400万円から約560万円へと約1.4倍に、薬剤師が約320万円から約590万円へと約1.8倍に、看護師が約300万円から約540万円へと約1.8倍に、事務職が約260万円から約430万円へと約1.7倍にそれぞれ医師ほどではありませんが上昇しています。

初任給については、医師以外の職種について昭和51年に調査を開始して以来いずれの職種も大きく上昇していますが、事務職についての上昇率が他の職種と比べてやや低くなっています。



3 令和6年の調査結果の概要（抜粋）

(1) 常勤職員給与額調

① 平均年間総支給額

ア 医師職（高い順）

心臓外科	26,501千円	(経験18.0年)
脳外科	21,599千円	(経験22.6年)
循環器内科	20,453千円	(経験25.8年)
耳鼻咽喉科	20,120千円	(経験28.8年)
外科	19,450千円	(経験27.2年)

イ 医師職以外の主な職種

看護師長	6,963,829円
主任看護師	6,226,785円
助産師	5,792,924円
看護師	5,353,702円
診療放射線技師	5,619,267円
薬剤師	5,887,330円
システムエンジニア(SE)	5,137,990円

② 令和6年12月分 医師職以外の主な職種の平均総支給額（賞与を除く）

看護師長	477,357円	診療放射線技師	378,389円
主任看護師	422,689円	薬剤師	395,211円
助産師	379,246円	臨床工学技士	338,165円
看護師	363,203円	臨床検査技師	321,773円
准看護師	340,381円	システムエンジニア (SE)	319,395円

③ 賞 与（医師職以外の主な職種の平均支給額）

看護師長	1,310,633円	臨床検査技師	980,715円
主任看護師	1,057,689円	PSW	971,619円
助産師	841,258円	診療放射線技師	1,007,907円
看護師	910,824円	薬剤師	1,083,312円
公認心理士	1,107,007円	作業療法士	882,142円

④ 初任給（主な職種の平均基準内給与計）

保健師	231,239円	理学療養士（大学4年制卒）	225,647円
看護師（大学4年制卒）	236,163円	作業療養士（大学4年制卒）	226,776円
助産師	253,583円	言語聴覚士（大学4年制卒）	223,652円
准看護師	198,014円	診療放射線技師（大学4年制卒）	217,647円
薬剤師	252,309円	臨床検査技師（大学4年制卒）	205,074円

⑤ 手 当

役付手当、宿（当）直、日直手当、2次・3次救急患者受入れ時の加算額、夜間看護手当、職務（資格）手当等について調査を行った。宿（当）直手当の概要は下表のとおりである。

職種	平日	土曜日
医師	22,000円～ 130,000円、中央値41,500円	25,000円～ 130,000円、中央値50,000円
看護師	8,000円～ 20,000円、中央値14,900円	8,000円～ 20,000円、中央値15,000円
准看護師	8,100円～ 18,000円、中央値15,000円	9,000円～ 19,000円、中央値15,000円
事務員	2,300円～ 15,000円、中央値 9,000円	2,300円～ 20,000円、中央値10,000円

(2) 非常勤職員賃金調

① 医 師

平日夜間・宿直勤務、平日昼間勤務、日曜・祝日勤務、年末・年始勤務に係る賃金について調査を行った。平日昼間勤務の概要は下表のとおりである。

雇用形態	救急告示あり	救急告示なし
臨時雇用	1時間当り賃金の中央値11,680円	1時間当り賃金の中央値11,305円
定時雇用	1時間当り賃金の中央値11,745円	1時間当り賃金の中央値12,345円

② 看護師

日勤、宿直、夜勤に係る賃金について調査を行った。日勤の概要は下表のとおりである。

職種	日 勤
看護師	1 時間当り賃金の中央値1,700円
准看護師	1 時間当り賃金の中央値1,429円
看護補助者	1 時間当り賃金の中央値1,114円

(3) 労働条件調

① 定年制

医師職の定年制「あり」は65病院（81.3%）で、60歳が38病院（58.5%）、61歳～65歳が22病院（33.8%）、66歳以上は5病院（7.7%）である。また、定年制「なし」は15病院（18.8%）である。

看護職・一般職は、定年制「あり」が82病院（100%）と全病院である。その多くは60歳定年〔看護職55病院（67.1%）、一般職55病院（67.1%）〕で、61歳～65歳は看護職25病院（30.5%）、一般職25病院（30.5%）、66歳以上は看護職2病院（2.4%）、一般職2病院（2.4%）である。

② 退職金

退職金制度「あり」は、医師職では52病院（64.2%）、看護職・一般職は81病院（98.8%）である。

③ 子育て支援

「保育施設の整備」では直営29病院、委託21病院。無償は直営3病院、委託1病院で、他は全ての病院が有償。また、「労働時間の短縮」71病院、「夜勤の免除」69病院、「自動車通勤の許可」41病院、「当直の希望を優先的に配慮」29病院、「当直回数制限の免除」35病院となっている。

4 令和7年調査結果のイメージ（抜粋）

「総括（全県）」と「支部別（5支部）」でまとめる。

(1) 令和7年 組織及び労働条件調

- ①規模 ②所定労働時間 ③定期昇給 ④賞与 ⑤退職金・定年制（医師職・看護職・一般職）
⑥有給休暇・子育て支援 ⑦外国人労働者の雇用状況（職種、人数、国籍） ⑧人件費比率等
⑨ベースアップ評価料への対応

(2) 令和7年分 医師専門科別調（年俸・職務経験年数別年俸・平均給与額 [R7.12月分]）

- ・年間給与額調（病院機能別内訳、阪神・神戸・播磨他の地域別内訳あり）
- ・職務経験年数別年俸調
- ・12月分平均給与額調（病院機能別内訳、阪神・神戸・播磨他の地域別内訳あり）

<報告書例>

医師専門科別・職務経験年数別年俸調

(単位 千円)

専門科	職務経験年数	人数	平均年齢	年俸				専門科	職務経験年数	人数	平均年齢	年俸			
				平均	中央	最高	最低					平均	中央	最高	最低
内 科	0							呼 吸 器 内 科	0						
	1								1						
	2								2						
	3								3						
	4								4						
	5								5						
	⋮								⋮						
	10								10						
	11～15								11～15						
	16～20								16～20						
	21年以上								21年以上						
総 計								総 計							

(3) 令和7年分 職種別調（医師以外）

- ・12月分平均給与額調（病院機能別内訳あり）
- ・年間総支給額調
- ・賞与平均支給額調
- ・初任給調

<報告書例>

職種別年間総支給額調

(単位 円)

職 種	人 数	平均職務 経験年数	平均年齢	平均年間 総支給額	中 央	最 高	最 低
事 務 員							
医師事務作業補助者							
薬 剤 師							
診療放射線技師							
理 学 療 法 士							
作 業 療 法 士							
言 語 聴 覚 士							
P S W							
⋮							
⋮							
⋮							
看 護 師 長							
主 任 看 護 師							
看 護 師							
助 産 師							
准 看 護 師							
介 護 福 祉 士							
看 護 補 助 者							
総 計							

(4) 令和7年12月分 看護師職務経験年数別平均給与額調（病院機能別内訳あり）
 ＜報告書例＞

看護師職務経験年数別平均給与額調（総括）

(単位 円)

分類	職務経験年数	人数	平均職務経験年数	平均年齢	基本給	基準内手当	基準内給与計	基準外手当	総支給額	年間総支給額
師 長	0									
	1～5									
	6～10									
	11～15									
	16～20									
	21～25									
	26～30									
	31年以上									
	総計									

(5) 令和7年12月分 職員職務経験年数別平均給与額調（病院機能別内訳あり）

(6) 令和7年 諸手当調（家族・役付・住宅・日直・当直・危険・夜勤・資格手当等）

(7) 令和7年 非常勤職員賃金調（医師、看護師、准看護師、薬剤師、診療放射線技師など）

(8) エクセルデータによる自院と集計結果との比較
 ＜報告書例＞

*エクセルシートの一部を抜粋

令和7年分 医師専門家別年俸調

単位：千円

専門家	人数	平均職務経験年数 (最高-最低)	平均年齢 (最高-最低)	平均年俸	平均年俸 個別病院値	平均年俸 比較	最低	最低 個別病院値	最低 比較
内科										
呼吸器内科										
消化器内科										
循環器内科										
小児科										
精神科										
外科										
消化器外科										
整形外科										
脳外科										
心臓外科										
産婦人科										
眼科										
耳鼻咽喉科										
皮膚科										
泌尿器科										
歯科・歯科口腔外科										
リハビリ科										
放射線科										
麻酔科										
心療内科										
血液免疫科										
神経内科										
総計										

■ 調査への参加のお願い ■

辻井 治

(医療法人社団衿正会 生駒病院 事務長)

本調査は、長年にわたり会員病院が互いの給与や労働条件の実態を共有し、経営改善や人材確保の基礎資料として活用してきた大切な調査です。

しかし、設問数の多さや入力作業の負担などから、近年は参加病院数の減少が続いています。令和6年の回答病院数は82病院、前年比で9病院減少となり、サンプル数の減少に伴いデータ自体の信頼性が低下する状況となっております。

先日公表された令和7年の全産業の賃上げ率平均約4.4%は前年増である一方、医療業界の賃上げ率平均2.3%は前年を下回り、ますます医療業界全体の給与水準が厳しい状況にあることが顕著となりました。こうした現状を正確に「見える化」し、今後の賃金体系や職員定着のための方策を考える上で、本調査のデータは欠かせません。

経営労務委員会より、実務上の課題や情報環境の変化を踏まえ、本調査の見直しについてご検討をお願いしている中、令和7年実態調査へのご参加をお願いするのは恐縮ではございますが、調査の精度向上のためにぜひ多くの病院様のご協力をお願い申し上げます。

中村 尚司

兵庫県民間病院協会 事務局長

病院給与・労働条件実態調査のあり方につきましては、経営労務委員会で検討しているところでありますが今年度も引き続き実施いたしますのでご協力をお願いいたします。

本調査は、昭和50年から続く調査であり、第51回目を迎えます。長きにわたり、病院経営における給与や労働条件を検討する上での重要なデータとして活用されてきましたが、近年は参加病院数の減少が続き、前年度（令和6年度）は参加82病院、提出人数8,405名と、減少傾向にあります。これにより、調査結果の信頼性低下という大きな課題が生じており、事務局としても憂慮しております。本調査の最大の特長は、地域別・職種別・経験年数別などで、自院の給与水準や労働条件を客観的に検証できる点にあります。フィードバックされるデータは、病院規模、所定労働時間、休暇、賞与、給与形態、初任給、非常勤職員などの貴重な情報を含み、労働条件の見直しや給与の適正化、ひいては人材確保・育成戦略の立案に資する極めて有益なものです。

会員病院におかれましては、令和7年 病院給与・労働条件実態調査へ、ぜひご参加くださいますよう、事務局一同心よりお願い申し上げます。また、新規の参加、あるいは近年不参加となっている病院の再度の参加が、本調査の価値を高める原動力となります。皆様の積極的なご参加を重ねてお願い申し上げます。

神戸

(一社)神戸市第二次救急病院協議会 第5回理事会議事録

日 時 令和7年10月9日(木)
16:00～16:35

場 所 神戸看護専門学校 8階 講堂

出席役員 理事 10名 (Web 1名含む)
監事 2名 (Web 1名含む)
実行委員 8名 (Web 1名含む)

議 長 高橋 会長

議 題

- 1 令和8年度神戸市予算要望に係る自民党市
会議員団との懇談会について
令和8年度神戸市予算要望についての標記
市会議員団と神戸市民間病院協会の懇談会に
おいて、同席した神戸市第二次救急病院協議
会の高橋会長から同協議会への補助金増額の
要望書を提出したと報告があった。この要望
書は合わせて同時期に神戸市健康局へも提出
済みであるとした。そこで、高橋会長からの
詳細な要望内容について解説後に市会議員団
からも神戸市へアプローチしていく旨、協力
賛同が得られたとし、今後の神戸市予算編成
に期待をもって見守りたいと理事会に了解を
求め承認された。
- 2 神戸市長選挙での久元現市長への推薦状の
提出について (事後承認)
高橋会長より、来る、神戸市長選挙 (10月

12日告示、26日投開票)での久元喜造氏の神
戸市長候補としての推薦を自民党兵庫県支部
連合会から神戸市第二次救急病院協議会へ協
力依頼があった。同時期は令和8年度の神戸
市予算編成の時期とも重複しており、協力賛
同する意義はあると判断し、本来であれば理
事会承認を得るべき議案となるが、提出期限
が迫っており、止むを得ず、会長・副会長の
承認判断にて推薦状を提出した。そこで、本
日の理事会議案として挙げさせて頂き役員
の方々に理解を求め、その後、高橋会長が理
事会に諮ったところ異議なく承認された。

- 3 Mefisシステム入力罰則明細について (令
和7年度上半期)

釜戸事務局長より令和7年度上半期におけ
るMefisシステム入力罰則明細の報告があっ
た。それによると、この期間での罰則件数は
4件あり実病院数も4病院で、罰則金額合計
は16,500円となった。明細内容は発生時、既
に該当病院に報告済みであるが、今回上半期
分を取りまとめ通知したいとした。これを受
け高橋会長が理事会に諮ったところ異議なく
承認された。

- 4 二次救急輪番制当番引受必須義務達成につ
いて (令和7年7月～9月)

釜戸事務局長より、定款に則り標記状況に
ついての結果報告があった。それによると、
神戸徳洲会病院が輪番復活して45病院が当番
引受必須義務単位数 (17.5単位) は無事にク
リアされているとの事であった。これを受け、
高橋会長が理事会に諮ったところ異議なく承
認された。

エ リ ア 情 報

東阪神

事務長会定例会 議事録

日 時 令和7年10月17日(金) 15:00～
場 所 小田南生涯学習プラザ 大会議室2
出 席 西宮、宮宗、伊藤、河上、向井、榎村、
井内、岡田、植木、井上、石橋、堀、
筒井、斎藤、野崎、徳岡、山本、鈴木、
辻井、川原、倉富、田島 計22名

議 題

- 1 適時調査・病院立入検査報告について
病院立入 生駒、みやそう、安藤、池田、
つかぐち、中馬、西武庫
・医師の長時間労働に該当する場合の対応
・構造設備、図面との不一致項目
・当直医師の掲示（フルネーム記載）
・非常勤医師の健康診断結果
・サイバーセキュリティの2要素認証
近畿厚生局適時調査
8月18日(月) はくほう会セントラル
保険医登録申請、褥瘡ファイル記載漏れ
指摘
9月29日(月) 伊丹恒生脳神経外科
身体拘束、医療安全事故報告は当事者・
発見者両方を記載
- 2 事務長会・看護部長会合同研修会について
・10月25日(土) ホテル日航姫路
・令和8年度 東阪神支部担当に向けての打
ち合わせ
- 3 人材確保について
他府県のアンケート内容から意見交換
採用方法、人材紹介料、スキマバイト利
用、業務外注利用、ホームページ掲載方
法、面接

- 4 その他
経営労務委員会 病院経営実態調査の必要
性について
(次回の事務長会で再度検討)

次回開催 令和7年11月21日(金) 15:00～
場 所 小田南生涯学習プラザ

西阪神

2025年度 事務長研修会 議事録

日 時 令和7年10月16日(木)
15:30～17:00
場 所 めいわりハビリテーション病院
会議室
出席者 32名のうち17名出席
議 長 伊田会長
書 記 園田会報編集委員

議 案

- 1 医事部会より報告（奥屋事務長）
・今期の予防接種について、事務長会に於い
ても情報交換を行う。
- 2 面会時間の設定状況について（園田事務長）
・面会時間の延長等を希望される投書もあ
り、今後の検討としている。
→各医療機関の状況について、情報が共有
された。
- 3 各委員からの連絡事項
・日帰り研修会について（國見総務委員長）
下記内容にて調整を行う。
○午前：医療DXの先進的な取り組みで知
られる、愛媛県四国中央市HITO
病院の理事長先生を講師として招

き、成功事例を学ぶ。

- ・午後：主要メーカー（富士通、キーエンス等）から最新のシステムやRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）について紹介を受ける。

- ・病院給与 労務条件実態調査について（伊田会長）

民間病院協会が実施する本調査について、回答率の低迷により各支部毎に今後の取りまとめの依頼あり。

→「作業負担が大きいわりに有用性が低い」という課題を共有し、西阪神地区としては調査の継続を支持しない（廃止の方向で）意見としてまとめることで合意した。

4 その他 情報共有など（伊田会長）

- ・コロナ患者発生時の院内対応について
院内で新型コロナウイルス感染者が発生した場合の対応について情報交換がなされた。

多くの病院では、専用病床を設けず、発生の都度、個室隔離、病室内でのカーテン隔離、又は同じ部屋の患者を移動させない「コホート対応」などで対応していることが確認された。

◎次回の事務長研修会の予定

日時 令和7年11月20日(木) 15:30～
場所 西宮市医師会 会議室（予定）

第623回 事務長会・役員会 議事録

日 時 令和7年10月14日(火)

16:30～17:00

場 所 ホテルキャッスルプラザ西明石

参加者 黒川、田中、藤井、伊福、船木、山野、永田、山田、村上

協議事項

- 1 令和7年9月の会計報告 →承認
- 2 今年度事業について
 - ・今年度は単発開催の研修会として、企画を調整する。講師として、東京大学教授・渋滞学者で交通や人の流れの“ムダ”を科学的に分析されている西成活裕先生を候補として検討する。
- 3 医療情報交換
 - ・事務職員の新卒採用状況や今後の採用説明会の実施方法などについて、意見交換を行った。
 - ・各施設の忘年会の開催予定について意見交換を行った。

次回開催予定

日時 令和7年11月11日(火) 16:30～
場所 ホテルキャッスルプラザ西明石

協会だより

令和 7 年 **11月** 14日(金) 会報編集委員会
18日(火) 会報編集委員会
27日(木) 理事会

〔予定〕

令和 7 年 **12月** 2 日(火) 令和 7 年 年末特別講演会・懇親会
兵庫県医療審議会医療法人部会
4 日(木) 県病院協会・県民間病院協会・県医師会との懇談会
26日(金) 仕事納め

令和 8 年 **1月** 5 日(月) 仕事始め

未来をみつめて技術の進歩と 予防医学の向上に努力を続けています

— 化学を通じて豊かな未来づくりに貢献する専門商社 —
試薬・化学工業用薬品・臨床検査用試薬・機器



本 社
〒650-0046 神戸市中央区港島中町 2 丁目 2 番 2 号
TEL(078)303-3800(代) FAX(078)303-3700
兵庫西支店
〒674-0074 明石市魚住町清水字井桶田
TEL(078)942-2511(代) FAX(078)942-2515

 **広瀬化学薬品株式会社**

<http://www.hirosechem.co.jp/>

第16回 ヤングフォーラム

日時 令和8年1月17日（土）

会場 ザマーカスクエア神戸 5階ミッドタウン

講演会（16時～17時30分）

演題

在宅医療から見える地域医療
の課題と社会のニーズ

講師

医療法人社団悠翔会 理事長
佐々木 淳 氏



超高齢化に伴い地域の形、そして医療へのニーズは急速に変化している。現状、地域医療はこの変化に順応できていない。

また技術革新に伴い医療そのものの形も変化してきている。今後、ACPの普及に伴う患者の医療に対する意識の変化、高齢者の自己負担割合の増加・高額療養費の見直しによって、特に高齢者の受療行動は大きく変化する可能性がある。これは入院のみならず、外来や在宅医療においても同様であろう。

急速に変化していく社会のニーズに、地域医療はどう応えていくべきなのか、考えてみたい。

懇談会（17時30分～19時）

参加費 講演会・懇談会 15,000円

講演会 5,000円 懇談会 10,000円

一般社団法人兵庫県民間病院協会ホームページより
お申し込みください

<https://www.hgminkanhp.com/>

(一社)兵庫県全日本病院協会だより

一般社団法人 兵庫県全日本病院協会

令和7年度 第5回理事会議事録(速報)

I 日 時 令和7年10月16日(木)
15:00～15:50

II 場 所 兵庫県医師会館6階
第4・5会議室

III 出席者 理事総数13名 出席理事11名
監事総数2名 出席監事1名
理 事：宮地千尋(会長)、吉田寛(副会長)、
鄭正秀(副会長)、橋本創、常岡豊、
大江与喜子、西昂、中井正信、
大石麻利子、譜久山剛、古城資久
監 事：東靖人

なお、吉田寛、大江与喜子、大石麻利子、
譜久山剛、古城資久はWeb会議システムにより
出席した。

IV 会議の成立

理事11名が出席し、定款第35条に規定する
定足数を満たしており、本理事会が成立した
旨確認された。

V 議 長

宮地千尋会長が、定款第34条の規定により
議長となった。

VI 議事の経過の要領及びその結果

1 協議事項

(1) 兵庫県病院関係6団体共催 令和7年
年末特別講演会・懇親会の役割分担及
び招待者について(共通事項)

中村事務局長より、役員の役割分担及
び関係団体招待者等について説明があ
り、協議の結果、全員一致をもって承認
し、可決した。

(2) 第16回ヤングフォーラムの開催につ
いて

中村事務局長より、今年度へ事業計画
を追加し、第16回ヤングフォーラムを下
記のとおり開催することについて説明が
あり、協議の結果、全員一致をもって承
認し、可決した。

①日時 令和8年1月17日(土)

午後4時頃からを予定

②場所 ザマーカススクエア神戸

③講師 医療法人社団悠翔会

理事長 佐々木 淳 氏

④演題 在宅医療から見える地域医療の
課題と社会のニーズ(仮題)

2 報告事項

(1) 令和7年度上半期事業報告

中村事務局長より、定款第25条第4項
に基づき、「会長、副会長は、毎事業年
度に4箇月を超える間隔で2回以上、自

己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない」こととされており、上半期の事業報告として、「管理運営・経営改善」「広報活動」「研修会、講演会などの開催」等に関する事業の進捗状況について報告があった。

なお、会員の状況については、この間の異動はなく、9月末現在の会員数は127である旨、併せて報告があった。

3 その他

(1) 次回の理事会について

中村事務局長より、次回の理事会は11月20日(木)を予定していたが、阪神圏域の会議と重なったため、11月27日(木)に変更する旨、報告があった。

Web会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく終了した。

公益社団法人 全日本病院協会 2025年度 第7回常任理事会

日 時 2025年10月10日(金) 16:00～18:00
場 所 札幌グランドホテル 東館 3F「GINSEN」
出席者 定数25名、出席24名

議 事 要 旨 (抜 粋)

冒頭、神野会長より、翌日から開催される第66回全日本病院学会 in 北海道の開催について、齊藤学会長への謝辞が述べられた。

【主な報告事項】

●中央社会保険医療協議会 入院・外来医療等の調査・評価分科会について

津留常任理事より下記の報告がされた。

(2025年度第13回・2025.9.25)

- 「入院・外来医療等の調査・評価分科会における検討結果(とりまとめ)案」が了承され、総会に報告されることとなった。なお、文言修正や追加等については、分科会長に一任することとなった。

●中央社会保険医療協議会 費用対効果評価専門部会について

津留常任理事より下記の報告がされた。

(第72回・2025.9.26)

- 費用対効果評価制度の見直しに関する検討(その1)として、費用対効果評価制度の位置づけ、政府決定等の経緯の説明後、検証の進め方について現状・課題、論点が提示され議論した。

●中央社会保険医療協議会 保険医療材料専門部会について

津留常任理事より下記の報告がされた。

(第131回・202.9.26)

- 保険医療材料制度の見直しに関する検討(その1)として、①イノベーションの評価(チャレンジ申請)、②プログラム医療機器の評価(評価基準の明確化、特定保険医療材料として評価されるプログラム医療機器の算定、原価計算に含めるべき費用の対象範囲、選定療養の活用方法)の現状、課題、論点が提示され議論した。

●中央社会保険医療協議会 総会について

津留常任理事より下記の報告がされた。

(第618回・2025.10.1)

- 入院・外来医療等の調査・評価分科会から「入院・外来医療等の調査・評価分科会における検討結果（とりまとめ）」が報告され、了承された。
- 在宅（その2）として、①訪問診療・往診等、②訪問看護に係る課題と論点が提示され議論した。

●中央社会保険医療協議会 医療機関等における消費税負担に関する分科会について

須田常任理事より下記の報告がされた。

(第25回・2025.10.8)

- 厚生労働省より、2020年度～2022年度の補てん率の集計誤りがあったことが報告された。2021年度・2022年度の支出について、消費税負担額の計算過程で「水道光熱費」を計上していなかった。2020年度・2021年度の収入について、公費単独レセプト（生活保護法等の公費負担医療）分を計上していなかった。
補正前・補正後の公表データの修正が提示され、2020年度の消費税補てん率について、医科全体では補正前103.4%から補正後107.7%、2021年度は105.6%から104.2%、2022年度は107.1%から99.3%であることが報告された。
- 診療報酬による消費税補てん状況の把握について論点が提示され議論した。

●社会保障審議会医療部会について

神野会長より下記の報告がされた。

(第119回・2025.10.3)

- 2026年度診療報酬改定の基本方針について、基本認識、基本的視点、具体的方向性が提示され議論した。
- 地域医療構想及び医師偏在対策について、これまでの検討会における議論について説明が行われ議論した。

●医療事故調査制度等の医療安全に係る検討会について

今村常任理事より下記の報告がされた。

(第4回・2025.10.1)

- ①医療事故判断の質向上（管理者の判断支援環境の整備）、②院内調査の質向上（院内調査実施担当者への教育等、センター調査の透明性向上）、③再発防止による医療安全向上の促進、④支援団体による支援の充実、⑤国民への制度に関する周知促進について現状と課題、論点が提示され議論した。

●第67回全日本病院学会 in 埼玉について

池井常任理事より、第67回全日本病院学会 in 埼玉のポスター等が報告された。

【開催概要】

会 期：2026年9月12日(土)・13日(日)

会 場：ソニックシティ、
パレスホテル大宮

テーマ：医療人魂～未来へ紡ぐ地域医療を
彩の国から～

●各種研修会案内について

猪口副会長より、各種研修会を下記の通り開催することが報告された。

- (1)外国人介護人材受入・制度の説明会 in 埼玉
ーネパール・ベトナム・ミャンマー人材を
介護人材へ登用ー

【概要】

・日 時 2025年11月20日(木)
13：30～16：00

・会 場 TKP大宮ビジネスセンター ANNEX
(埼玉県さいたま市)

・定 員 30名

・参加費 無料

- (2)2025年度医療安全推進週間企画 医療安全対策講習会（オンライン）

【概要】

・日 時 2025年11月28日(金)
13：00～16：00

- ・定 員 250名
- ・参加費 会 員 6,600円（税込）／
非会員 7,700円（税込）
- ・共 催 一般社団法人日本医療法人協会
(3)2025年度臨床研修指導医講習会（オンライン）

【概要】

- ・日 時 2026年 1 月17日(土)～ 30日(金)（オンデマンド型研修）
2026年 2 月 1 日(日)
9：30～16：30（オンラインライブ型研修）
2026年 2 月 1 日(日)～ 13日(金)（オンデマンド型研修）
2026年 2 月15日(日)
9：30～16：30（オンラインライブ型研修）
- ・定 員 32名
- ・対 象 ①臨床研修病院又は研修協力施設
②臨床研修病院又は研修協力施設への申請を検討している施設
①・②において7年以上の臨床経験を有する医師
- ・参加費 会 員 66,000円（税込）／
非会員 88,000円（税込）
- ・共 催 一般社団法人日本医療法人協会

●各委員会報告について

- ・広報委員会委員長の宮地常任理事より、外国人材受入事業会議から、外国人材受入病院の拡大のため、SNSで広告を出したいと相談があり、外国人材受入事業会議で進めていくことが報告された。
- ・高齢者医療介護委員会委員長の福田常任理事より、同委員会を実施予定である介護認定審査会に関するアンケート調査について協力依頼が行われた。

●厚生労働省、日医、各団体報告について

- ・井上常任理事より、一般社団法人日本専門医療機構理事会（第16回）の報告が行われた。

【討議事項】

●地域医療構想のその先について

猪口副会長より、地域医療構想について、「新たな地域医療構想等に関する検討会」、「地域医療構想及び医療計画等に関する検討会」の資料をもとに、①医療機関機能、②区域の人口規模を踏まえた医療機関機能の考え方案、③医療機関機能の協議にあたっての検討事項とデータ案、④病床機能、⑤構想策定のあり方について説明が行われた。

猪口副会長は医療機関機能の「高齢者救急・地域急性期機能」について、高齢者救急の定義が不明確なことを指摘するとともに、急性期拠点機能についても大学病院などが急性期拠点病院を担った場合に、急性期拠点機能の実績を維持するために、2次救急の需要も吸収してしまうことになりかねないなどの懸念を示した。

その後の討議で下記の意見が挙げられた。

- ・急性期拠点病院にあらゆる救急患者が集まってしまう可能性があり、3次救急・2次救急・初期救急を担う医療機関の役割分担について明確に整理する必要がある。上り搬送の評価を含めて、連携体制のあり方を新たな地域医療構想の中に入れ込まなければならないと思う。
- ・高齢者救急の定義を明確にして、搬送先について救急隊が判断しやすい状況を作っていくことが必要である。
- ・地域医療構想については、都道府県に裁量権を持たせることが重要ではあるが、首長の意向に左右され過ぎないように、協議の場において都道府県の医療関係団体が協力して現場の意見を反映させていく必要がある。

また、医療機関機能の協議にあたってのデータの中に、「築年数」が明記されていることに関して、地域を支える機能を担っている病院については、公的・民間を問わず、新築・改築に係る補助金を求めていく必要があることが指摘された。



兵庫県病院協同組合だより



金額単位：円

10 月 度 事 業 報 告	種 目	件 数	取扱高	前年同月比	種 目	件 数	取扱高	前年同月比
	1. 融 資	0 病院			6. 牛 乳	1 病院	15,179	△ 11,002
	2. 寝 具	25 病院	6,899,610	△ 160,332	7. 防 虫	0 病院		
	3. 白 衣	19 病院	7,138,085	△ 1,991,697	8. 保 険 (手数料収入)		746	△ 124
	4. 患 者 衣	7 病院	613,970	△ 13,161	9. 飲 料 (手数料収入)		5,564	△ 970
	5. パ ン	0 病院			10. そ の 他 (手数料収入)		3,553	3,553

10月理事会について

日 時 令和7年10月16日(木)

14:00～15:00

場 所 兵庫県医師会館 6階 第1会議室

役員総数 理事8人 監事2人

出席理事 8人 (うち本人出席5人)

(うち議決権行使書3人)

出席監事 1人 (うち本人出席1人)

理事会の成立

定款第49条の規定により、理事長西昂が議長に就任、理事会の成立を報告し、直ちに議事に入った。

議 題

1 議案事項

(1) 当組合の運営上の留意点について

ア 重複加入組合員等の整理

議長は、事務局長に重複加入組合員の現状報告をさせたうえで、重複解消に向けた出資金の返還にあたっての取扱いについて慎重審議の結果、出資金は全額返還し、過去に支払った配当金の返還を求めないことを全員一致で承認した。

イ 役員改選

議長は、事務局長に役員改選に関する

兵庫県中小企業団体中央会の助言内容及び現状を踏まえた総会資料の変更必要点等について説明させ、慎重審議の結果、全員一致で役員改選に関する変更内容を承認した。

ウ 定款変更

議長は、事務局長に退会時の出資金の取扱いに関する定款の字句修正等の必要箇所について説明させ、慎重審議の結果、次期総会で定款変更議案を提出することを全員一致で承認した。

(2) リース事業展開に向けた戦略の検討について

議長は、事務局長にリース事業に対する組合員の需要調査結果等を報告させ、今後の事業展開戦略を慎重審議の結果、組合で一括購入した製品を組合員にリースする方向で検討を進めることとし、リース対象製品を2品目程度に絞り込むことを全員一致で承認した。

また、リース対象製品の最終決定は理事会で行うことを併せて全員一致で承認した。

- (3) (一社)兵庫県民間病院協会等との共同事業について

ア 令和7年度年末特別講演会・懇親会

議長は、事務局長に令和7年度年末特別講演会・懇親会を(一社)兵庫県民間病院協会等6団体共同で開催することを説明させ、慎重審議の結果、全員一致で承認した。

開催予定日 令和7年12月2日(火)

15:00～19:00

場 所 神戸ポートピアホテル
大輪田

イ 「令和8年度研究発表会」

議長は、事務局長に(一社)兵庫県全日本病院協会等が開催する「令和8年度研究発表会」に開催団体の一つとして参画することを説明させ、慎重審議の結果、全員一致で承認した。

開催予定日 令和8年8月1日(土)

場 所 神戸市産業振興センター

- (4) 幹旋事業等に関する振込手数料の負担統一について

議長は、事務局長に令和8年1月から組合口座への振込手数料は利用者負担に統一することを説明させ、慎重審議の結果、全員一致で承認した。

- (5) 自動振替の廃止について

議長は、事務局長に四国銀行での一部サービスが令和8年3月末をもって中止となることへの組合の対応内容を説明させ、慎重審議の結果、利用病院の状況を把握しつつ、他銀行への移行をお願いしていくことを全員一致で承認した。

- (6) 医療用物資の幹旋について

議長は、事務局長に組合ホームページ立

上げに合わせて、マスク、ニトリル手袋等を組合で幹旋することを説明させ、慎重審議の結果、全員一致で承認した。

- (7) 京都府病院協同組合との協業(法人会員紹介業務)契約について

議長は、事務局長に京都府病院協同組合と協業(株式会社アンファミエ法人会員紹介業務)を行うための契約書内容について説明させ、慎重審議の結果、全員一致で承認した。

2 報告事案

- (1) 9月度事業及び収支について

事務局長より、資料に基づき9月の組合活動状況等の報告があった。

- (2) パソコン更新結果について

事務局長より、事務局設置のパソコン更新結果の報告があった。

- (3) 業者の紹介について

事務局長より、兵庫県民間病院協会事務長会(東阪神支部・神戸支部)からの希望で、医薬品の共同購買を進めている2業者を紹介したことの報告があった。

また、併せて、医薬品の共同購買を行っている協同組合薬剤センターの職員から当組合事務局及び兵庫県民間病院協会事務長会役員が事業説明を受けるとの報告があった。

- (4) 家庭用常備薬等の幹旋について

事務局長より、賛助会員である株式会社諒和が実施する家庭用常備薬等の幹旋を10月下旬から開始するとの報告があった。

- (5) 次回役員会開始について

・定例理事会

令和7年11月27日(木) 14:00～14:40

兵庫県医師会館6階 第2、3会議室

兵庫県病院企業年金基金だより

兵庫県病院企業年金基金資産別運用状況一覧表（2025年4月～2025年10月）

収益率計算方法：修正ディーツ法
総合口6資産分解：分解する

ファンド名	速 確 区 分	国内債券		国内株式		外国債券		外国株式		キャッシュ等				資産全体		資産全体	
		国内債券		国内株式		外国債券		外国株式		(短期資金)		(その他)		資産全体		資産全体	
		時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重
		時価総額	(構成比)	時価総額	(構成比)	時価総額	(構成比)	時価総額	(構成比)	時価総額	(構成比)	時価総額	(構成比)	時価総額	(構成比)	時価総額	(構成比)
ベンチマーク	—	-1.43%	—	26.79%	—	8.75%	—	25.83%	—	0.25%	—	0.25%	—	—	—	—	—
総合計	確	-0.99%	—	26.76%	—	8.69%	—	26.22%	—	0.27%	—	2.64%	—	5.60%	—	5.60%	—
		4,849,120,366		964,399,720		870,293,876		966,728,819		323,965,191		1,406,517,014		9,381,024,986			
		51.69%		10.28%		9.28%		10.31%		3.45%		14.99%		100.00%		100.00%	
みずほ信託銀行合計	確	-1.38%	—	26.54%	—	8.66%	—	26.12%	—	0.26%	—	2.75%	—	5.35%	—	5.34%	—
		3,086,076,996		654,909,755		589,777,104		655,473,782		262,194,755		1,340,476,527		6,588,908,919			
		46.84%		9.94%		8.95%		9.95%		3.98%		20.34%		100.00%		70.24%	
みずほ信託銀行 バランス	確	-1.38%	—	26.54%	—	8.66%	—	26.12%	—	0.26%	—	—	—	6.03%	—	6.02%	—
		3,086,076,996		654,909,755		589,777,104		655,473,782		262,185,704		—		5,248,423,341			
		58.80%		12.48%		11.24%		12.49%		5.00%		—		100.00%		55.95%	
みずほ債券SA	確	—	—	—	—	—	—	—	—	0.25%	—	0.24%	—	0.24%	—	0.24%	—
		—		—		—		—		—		642,118,932		642,127,983			
		—		—		—		—		0.00%		100.00%		100.00%		6.84%	
みずほフアロン	確	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.18%	—	5.18%	—	5.18%	—
		—		—		—		—		—		698,357,595		698,357,595			
		—		—		—		—		—		100.00%		100.00%		7.44%	
三井住友信託銀行 バランス	確	-1.36%	—	27.12%	—	8.77%	—	26.47%	—	0.00%	—	0.28%	—	6.21%	—	6.20%	—
		789,945,500		160,939,040		145,293,824		159,701,219		0		66,040,487		1,321,920,070			
		59.76%		12.17%		10.99%		12.08%		0.00%		5.00%		100.00%		14.09%	
三菱UFJ信託銀行 バランス	確	-1.33%	—	27.33%	—	8.75%	—	26.33%	—	0.28%	—	—	—	6.19%	—	6.18%	—
		726,404,598		148,550,925		135,222,948		151,553,818		60,559,509		—		1,222,291,798			
		59.43%		12.15%		11.06%		12.40%		4.95%		—		100.00%		13.03%	
りそなマルチ	確	6.40%	—	—	—	—	—	—	—	0.07%	—	—	—	6.39%	—	6.38%	—
		246,693,272		—		—		—		1,210,927		—		247,904,199			
		99.51%		—		—		—		0.49%		—		100.00%		2.64%	

注)「ファンド名」-「ベンチマーク」は、ファンド「総合計」のベンチマークの値を表示。

兵庫県病院企業年金基金時価増減一覧表（2025年4月～2025年10月）

収益率計算方法

：修正デイズ法

金額単位：円

ファンド名	速確区分	2025年3月末 時価総額	2025年10月末 時価総額	増減額	給付等			時間加重 収益率	複合ベンチ マーク騰落率
					掛金等	給付等	収益		
総合計	確	8,961,199,334	9,381,024,986	419,825,652	274,312,759	354,302,478	499,815,371	5.60%	—
みずほ信託合計	確	6,325,884,469	6,588,908,919	263,024,450	274,312,759	347,440,117	336,151,808	5.35%	—
みずほ信託バランス	確	5,021,321,033	5,248,423,341	227,102,308	274,312,759	347,440,117	300,229,666	6.03%	—
みずほ債券SA	確	640,615,906	642,127,983	1,512,077	0	0	1,512,077	0.24%	—
みずほフアロン	確	663,947,530	698,357,595	34,410,065	0	0	34,410,065	5.18%	—
三井住友信託バランス	確	1,247,790,696	1,321,920,070	74,129,374	0	3,291,531	77,420,905	6.21%	—
三菱UFJ信託バランス	確	1,153,963,688	1,222,291,798	68,328,110	0	3,004,389	71,332,499	6.19%	—
りそなマルチ	確	233,560,481	247,904,199	14,343,718	0	566,441	14,910,159	6.39%	—

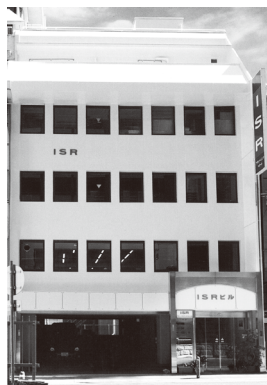
【月末マーケット指数】

	NOMURA-BPI		日興CB		TOPIX		MSCI-KOKUSAI	コール有担保	日経平均(円)	10年国債 為替(円/ドル)		米国NYダウ(ドル)	米10年国債 為替(円/ユーロ)
	349.164	—	—	—	配当込み	FTSE世界国債				1.485	149.540	42,001.76	4.23
2025年3月末					4,626.52	598.49	8,617.132	—	35,617.56				161.533
2025年10月末	344.187	—	—	—	5,865.99	650.84	10,842.907	—	52,411.34	1.655	154.055	47,562.87	4.11
年度末比上昇率幅	—1.43%	—	—	—	26.79%	8.75%	25.83%	—	47.15%	—	3.02%	13.24%	—
													10.08%

兵庫県病院企業年金基金のホームページ <http://www.hyogokenbyoin-kikin.or.jp>

ISR

Intelligent Social Reliance
アウトソーシング サポート



ISRビル (統括本部)

〒650-0026
神戸市中央区古湊通1丁目2番
(ISRビル)

(業務案内)
TEL 0120-366-761
www.isr-group.co.jp

社会保険労務士
ISR 梨本

働き方改革策定

労働条件・ハラスメント

労働保険事務組合
経営者会議

概算確定・労災特別加入

合同会社
ISR パーソネル

副業推進支援

人材紹介・リーダー育成

ISR e-Sports

シニア躍動・企業健康経営

株式会社
アイ・エス・アール

データセンター ISR

レセプト管理・情報デザイン

ISRサテライトオフィス

リモートワーク・ウェブ会議

信頼・向上 そして社会貢献

男女共同参画社会づくり協定グループ (兵庫県)

病院年報・周年記念誌

承ります！

会報、大学要項など
70年以上の実績があります。



今ご覧いただいている会報誌も弊社で作成いたしました。

患者様向け小冊子

も承っています！

例えば、診察・入院・手術などの手引書を、
幅広い年代や、日本語が不慣れな方向けに

- ・ 翻訳
- ・ イラスト作成
- ・ ストーリー仕立てのまんが化

動画にも
できます

すべてまるっと、お任せください！

印刷以外も

ご依頼ください！



ホームページ



動画



デジタルサイネージ



看板



資料のデジタル化
(冊子・図面など)

情報をデザインする会社



株式会社 七旺社

URL: <https://www.shichiou.co.jp>

TEL: 078-575-5212

FAX: 078-577-8366

e-mail: info@shichiou.co.jp

〒653-0012 神戸市長田区二番町4丁目27番地



担当: 佐藤 佐藤 氏

医療・福祉のスマート経営に、
アプリケーションは自由自在。

多様な業務をコーディネートし、お客様に合ったサービスをお届けします。
業務内容の組み合わせも、お気軽にご相談ください。



医療・福祉事業経営のトータルアウトソーシング・ソリューション ワタキューグループの【包括委託サービス】 (セイモアシステム)

包括的に一元的に医療経営・福祉事業経営をサポートする【セイモアシステム】は、ワタキューグループ各社の協力体制で実現しています。

- ワタキューセイモア(株)／リネンサプライ・販売・総合サポート
- (株)フロンティア／調剤薬局事業・福祉用具レンタル・販売事業
- 日清医療食品(株)／給食受託事業・在宅配食サービス事業
- (株)メディカル・プラネット／人材紹介・派遣・研修事業
- 綿久リネン(株)／ホテル・レストラン向けリネンサプライ
- 古久根建設(株)／総合建設業



健康と快適の明日を考える

ワタキュー セイモア株式会社

www.watakyu.co.jp

近畿支店／〒610-0396 京都府綴喜郡井手町多賀茶臼塚12-2 TEL 0774-82-5101

神戸営業所／〒651-1301 兵庫県神戸市北区藤原台北町7-4-1 藤田建設ビル2F TEL 078-982-2940

業 務 案 内

兵庫県病院協同組合 (設立昭和 37 年)

幹 旋 及 び 取 扱 い	基 準 寝 具 及 び 白 衣 ・ 患 者 衣 の 賃 貸	○ ワタキューセイモア(株)
	牛 乳	○ (株)共進舎牧農園
	ねずみ・衛生害虫防除	○ アペックス(株)
	自動販売機による飲料	○ (株)チェリオ Co.、ダイナミックベンディングネットワーク(株) 関西コーヒー(株)、(株)アペックス西日本、 関西キリンビバレッジサービス(株)
	保 險 代 理 店	○ 損害保険ジャパン代理店 (組合募集代理店…(株)インシュアランスサービス) 兵庫県民間病院協会の会員病院、従業員を対象とした自動車保険・火 災保険等の取扱い ○ アフラック生命保険株式会社 (組合募集代理店…(株)エイフ) 組合員病院、従業員を対象とした集団扱い商品 (がん保険) の取扱い
	自 動 車 リ ー ス	○ (株)イチネン
	家庭常備薬、サプリメント (対象:組合員病院の全職員)	○(株)諒和 (旧 大日商事(株)) 組合員病院の職員の福利厚生及びその家族の疾病予防、健康増進の一 助として、年2回幹旋実施
	紳士服、レディース用品 (対象:組合員病院の全職員)	○(株)青山商事と提携 「洋服の青山」で買い物時、「AOYAMA タイアップカード」(入会無料) の提示により、通年、10%の割引(割引セールの場合は割引後の価格 から)が受けられる。(福利厚生の一助として)
	引 越 (対象:組合員病院及び組合 員病院の全職員)	○(株)サカイ引越センターと提携 「特別割引専用ダイヤル」(TEL 0120-56-1141)で申込むと、特別優待 割引(引越基本料金の20%以上割引。但し3月15日～4月15日は除く) が受けられる。(福利厚生の一助として)

※上記以外にも、オープン方式グリーストラップ改善装置、転倒リスク軽減離床センサー、多言語映像通訳等の
病院関連商品をはじめ、病院運営に役立つ物品・機器の紹介や幹旋をおこなっています。

※また、院内業務改善やコスト削減、患者様へのサービス向上、職員の満足度向上等をお考えの組合員病院様に、
実現へのお手伝いができるよう、組合から適切な事業者・事業をご紹介します、ご提案などをさせていただきます。
お気軽にお問合せ下さい。

加 入 病 院 120病院
 主な取引銀行 商工中金、みなど、日新信金他
 理 事 長 西 昂 (医療法人康雄会 西病院理事長)
 専 務 理 事 鄭 正 秀 (医療法人社団博愛恵秀会 神戸博愛病院理事長)
 常 務 理 事 森 村 安 史 (医療法人樹光会 大村病院理事長)
 事 務 局 長 稲 田 忠 明

- ・ 協同組合には10万円の出資金のみ拠出いただければご加入できます。ご加入後は年会費など頂戴するこ
とはありません。
- ・ 取扱い業務並びに組合加入その他詳細は協同組合事務局へお問い合わせください。

協同組合事務局・T E L (078) 230 - 2525
F A X (078) 230 - 2526



(一社)兵庫県民間病院協会会報

令和7年11月25日発行・通巻657号

発行人 一般社団法人 兵庫県民間病院協会会長 橋本 創

〒651-0086 神戸市中央区磯上通6丁目1番11号 兵庫県医師会館7F

TEL (078) 230-1181 Eメール info@hgminkanhp.or.jp

URL <https://www.hgminkanhp.com>

編集者 譜久山剛、榎村忠浩、園田 香、原 正也、山田泰嗣、吉田明史

印刷 (株)七 旺 社 神戸市長田区二番町4丁目27番地・TEL (078) 575-5212(代)